

令和 7 年度秋のまちづくり懇談会内容

日 時： 令和 7 年 12 月 15 日(月)18:30～

場 所： 総合福祉センターしゃるる

出席者： 14 人

1 開 会

2 町長挨拶

3 懇 談

(1) 栗山町第 7 次総合計画～後期実施計画策定に向けて～資料①

(2) 主要施策の取組状況について 資料②

(3) 事前質問に対する回答

(4) 自由懇談

4 その他 別添資料

- ・くりやま暮らし応援電子商品券のご案内等・・・商工観光課より
- ・緊急告知 FM ラジオの企業・事業所配付について・・・総務課長より
- ・町営バス時刻表（説明なし）

5 閉 会

【自由懇談・そのほかの質疑など】

■補聴器の助成について	
町 民	アンケート調査をして検討とあるが、実際不自由を感じている人がいるので、アンケート取らなくてもわかっていることだと思う。近隣でもやっているところがあるし、ニーズはあるので、テストスタートをしてはいかがと思うが。初めは対象者を 3 件、5 件とか、助成額も 5 万とかから始めて。高齢者はお金がない、もしくは儉約家が多いので、安いものを購入して失敗している人も多い。
町 長	アンケート調査を含め、具体的にどう進めるかは担当課長から回答するが、基本的な考え方としては、高齢者の方は耳の聞こえが原因で、外出を控えるということがあって、認知症につながることは認識している。近隣の助成のことも調べるが、加齢による難聴についても全て援助するというのは、現実的ではないと考える。全ては、アンケート調査の把握後に有効的な方法を検討したいと考えている。難聴児の部分は一部助成している。
福祉課長	アンケート調査は来年 1 月に 65 歳以上の 2,000 人対象とする予定。その中に耳の聞こえについての項目がある。8 年度以降に助成制度について有効な方法を検討していきたい。近隣の情報も把握しながら。3 月までに集計をしていきたい。
町 民	ニーズ把握アンケートの内容は、困っている人がどうしたいと考えているのかの質問項目を予定しているのか。
福祉課長	設問は業者と検討中。使わない人の理由（雑音・金銭面など）を設問に入れていきたい。
町 民	近隣町で制度があるなら、どんな制度なのか調べてほしい。難聴について栗山町だけが特別ではないと思うので、深く掘り下げて前向きに検討して欲しい。

福祉課長	おっしゃる通りだと思う。長沼町が実施しているので担当者とも連絡を取っていききたい。栗山町にあった補助制度の検討をしたい。
■まちづくり協議会について	
町 民	他の地域の活動が見えてこない。他の地域の活動がわかる資料の配付は考えていないのか。
町 長	他の地域の活動が参考になると思うので資料を提供したい。10 のまちづくり協議会がある。当時は単位町内会の活動に加えまちづくり協議会もあり、大変だと言う意見が多かった。将来的に人口減少が進む中で、昔からある町内会の地縁組織にご意見を言うことはできない。しかし、人口減のなかで、この活動を続けていっていただき、将来を見据えていきたい。原動力になると考えている。将来の自治のあり方を協議していきたい。
企画財政課長	協議会の取り組み内容については、まとめてホームページには掲載しているが、古い情報なので更新したい。過去には連絡協議会があった。今年度開催もしていきたいと考えている。
■食品ロスに関する問題	
町 民)	毎年物を持ってくる人がいて、食べないので捨ててしまっている。町にフードバンクがあればよいと思う。ロスをなくすために、他の市町村も含めて実施してもよいと思うので、検討してもらいたい。
町 長	フードロスは全国的な問題に発展している。フードバンクに関しても、ご意見いただいたので、第7次総合計画の後期実施計画策定の中の検討の一つにしたい。